

栄養繁殖系作物のウイルスフリー苗作出と大量増殖法の開発

【研究概要】

多くの栄養繁殖系作物では、ウイルスによる生産力や品質の低下を防ぐため、ウイルスフリー苗の利用が不可欠である。また、挿木・株分け等による増殖が困難である栄養繁殖系作物は、苗の確保が課題である。そこで組織培養によるウイルスフリー苗の作出および大量増殖系の開発を行う。今年度は、下記の2つの成果が得られた。

- (1) ブバルディア：奇形花発生程度の少ない母株の培養利用による奇形花低減技術を確立するため、「チェリーピンク」で成長点培養を行った結果、供試した4系統全てからシュートが得られた。継代培養での増殖効率は系統間差が大きかった。
- (2) イチゴ等の培養苗を適宜継代培養し、維持した。